

平成24年度「みんなの審査会」対象事業の市の方向性  
(平成25年2月時点)

事業番号	IV-1	事業名	堺市被保護者キャリアサポート事業				
所管	健康福祉	局	生活福祉	部	生活援護管理	課	
<b>1. 審査結果</b>							
<審査員>				<検討委員(参考意見)>			
今後の方向性	事業の方向性	拡充	/	1	1	3	
		現状維持	/		9		
		縮小	/	2			
		廃止	/				
			ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
公金投入の方向性(人件費含む)				公金投入の方向性(人件費含む)			
<b>2. 市の方向性</b>							
事業の方向性	拡充	/			○	【見直し区分】 強化・拡充 (※国費獲得によるもの)	
	現状維持	/					
	縮小	/				<b>3. 平成25年度予算への反映状況</b>	
	廃止	/					
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大			
公金投入の方向性(人件費含む)				事業費	平成24年度 当初予算	平成25年度 当初予算	増減額
					115,990 千円	148,759 千円	32,769 千円
<b>4. 審査結果を踏まえた市としての取組方針、見直し内容</b>							
<p>審査結果を踏まえ、より就労支援事業全体に連動性を持たせた上で、事業を拡充するには、ケースワーカーの役割が非常に重要であると考えられる。現在、本市では、任期付短時間職員の高齢世帯への配置など、工夫した実施体制で生活保護業務を運営しているが、ケースワーカーの配置状況は、充足率が0.74と政令指定都市の中で、低い方から3番目の充足率にすぎず、就労支援全体を一層機能させていくためには、ケースワーカーの増員等実施体制の整備が課題と考えられる。</p> <p>今後に向けては、ケースワーカーをかなめとして各就労支援事業を連携させ、被保護者の就労実現に向け支援するとともに、就労した後の定着支援もより強化できるようなしくみなども整備していく必要があると考える。</p> <p>また、平成25年度は被保護者の就労に向けて非常に効果的である「就業訓練事業」の会場を増設し効率的な運営を行うとともに、母子世帯等の同じ境遇に置かれている者を対象としその傾向に沿った個別具体的な支援の実施や個別ニーズに沿ったSST(社会生活技能訓練)や精神保健福祉相談員による相談支援を実施する等の就業訓練事業について質量共に拡充を図る。引き続き、被保護者の自立支援策がより一層効果的に実施できるよう事業内容を工夫し拡充をはかるとともに、費用対効果についてもさらに検証をすすめていく。</p>							
<b>5. 今後の取組予定</b>							
平成24年度下半期	<p>複雑な課題を抱えた被保護者は増加傾向にあり、今後もさらにきめ細やかな支援が求められると考えられる。このため①求人開拓の強化②就業訓練の拡充③定着支援の強化の3点を中心として事業のさらなる充実強化に取り組んでいく。</p> <p>平成24年12月末時点就労者数実績：目標491名 実績571名 達成率116.2%</p>						
平成25年度	<p>平成24年度実績を検証のうえ、ケースワーカーがかなめとなり、キャリアサポート事業も含めた自立支援事業全体を連携させるとともに、就労支援策が十分機能するよう実施体制を整備し、より一層被保護者の自立支援策が効果的に実施できるよう、事業を拡充していく。特に就業訓練事業については、訓練会場を増設する等効率的・効果的な運営を行う。</p>						
平成26年度以降	<p>平成25年度実績を検証のうえ、就労支援事業をはじめとする自立支援プログラムが十分機能するよう実施体制等を整備し、被保護者の自立支援策が効果的に実施できるよう、事業展開していく。</p>						